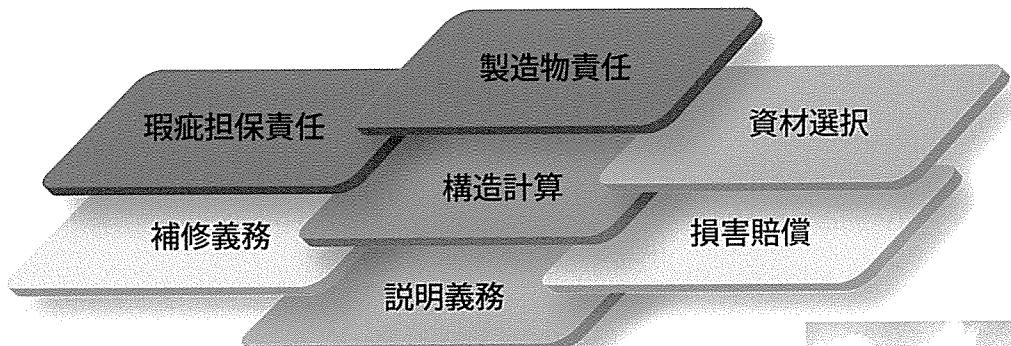


JAS製材品利用で、建築、設計関係者の皆様のリスクを軽減！



日本農林規格(JAS規格)に基づいて製造・管理されたJAS製材品の上手な利用は、設計・建築関係の皆様の、ビジネスリスク軽減と、お客様に喜ばれる物件の創造につながります。JAS製材品は、基準強度、寸法精度が明確で、正確に含水率もコントロールされています。また製材のJAS規格では、資材選択が簡単にできるように、規格が整理されています。全国木材検査・研究協会は、JAS製材品の利用をお薦めします。

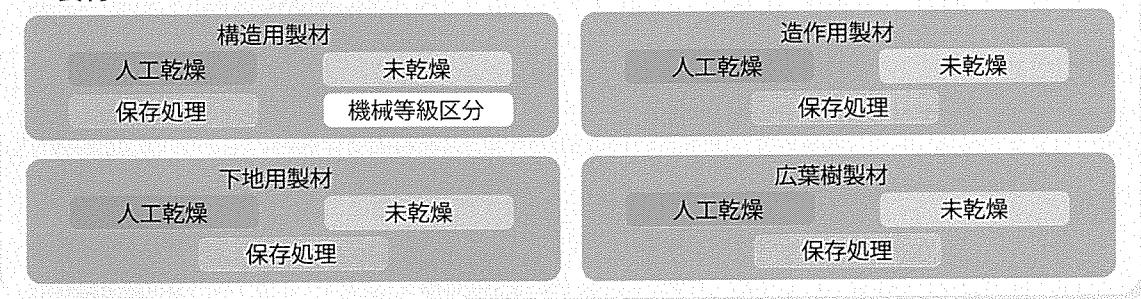


JAS製品は使用部位別性能資材

利用しやすい品目・規格区分

製材のJAS規格では、設計・施工関係など多くの方々が利用しやすいうように、建築物の部材を考慮して品目を区分し、規格を定めています。この品目区分は、利用する方が建築物の各部材に求める性能に合った確実な資材選択を容易にします。JAS製品は皆様の要求に確実に応え、性能を発揮します。

■ 製材JASの認定品目区分



■ 製材JASの規格区分

針葉樹

構造用：建築物の構造耐力上主要な部分に使用

目視等級区分：節、丸身等、材の欠点を目視により測定、等級区分

甲種構造材：主として高い曲げ性能を必要とする部分に使用（横使い、土台、大引き、梁等）

- ①構造用Ⅰ：木口短辺36mm未満。
木口短辺36mm以上かつ木口長辺90mm未満。
②構造用Ⅱ：木口短辺36mm以上かつ木口長辺90mm以上。

乙種構造材：
主として圧縮性能を必要とする部分に使用（縦使い、通し柱、管柱、床束、小屋束等）

機械等級区分：
機械によりヤング係数を測定・等級区分

造作用

下地用

広葉樹